

多文化共生の市民活動を市が支援！

～ボランティアの育成や異文化交流の取組を力強く後押しします～

横浜市では、外国人材受入・多文化共生の推進に向けて、市民団体やNPO法人等による「日本人と外国人の相互理解の促進」「在住外国人の生活支援」「地域日本語教育の推進」「在住外国人の活躍促進」に関する活動に補助金を交付して支援しています（横浜市多文化共生市民活動支援補助事業：平成29年度から実施）。

この度、対象事業として4件の応募があり、審査の結果、うち3件（総額1,068,118円）の支援を決定しました。各団体の事業を通じて、多様性と包摂性に富んだ多文化共生社会の実現を目指します。

【令和4年度補助対象事業及び交付決定額】※申請受付順

団体名称	補助対象事業名・事業概要	交付決定額
神奈川区に多文化共生をすすめる会	【学習支援ボランティアスキルアップ】 地域日本語教室や子どもの学習支援教室のボランティアに対して研修・ワークショップを実施し、スキルアップと地域人材間の更なる連携強化を図る。	370,000円
特定非営利活動法人 横浜金沢国際交流の会	【在住外国人支援につながる人材育成】 外国人支援に関わるボランティアに対して、在留資格、労働、年金、日本語教育、子どもの学習支援等の専門家によるスキルアップ研修を実施し、支援の充実を図る。	335,600円
特定非営利活動法人 リンク トゥ ミャンマー	【在住外国人のリアルから多文化共生を考える】 日本人を対象とした、スタディツアー（外国人住居見学・交流）やワークショップの開催を通じて、異文化理解や「隣人」としての認知を促し、意識の向上を図る。	362,518円

【令和3年度採択団体の活動状況】



手芸やヨガ、外国料理、英語・数学等スキルのある在住外国人の紹介イベント（霧が丘インターナショナルコミュニティ）



外国籍住民による子育て情報冊子「OYACO」（NPO法人 Sharing Caring Culture）

お問合せ先

国際局政策総務課担当課長 中村 拓 Tel 045-671-4718